

東海コンファレンス 2017 in 静岡

ー相原理論 40 周年・芳香族科学の最前線ー

主催 日本化学会東海支部

共催 静岡大学

日時 平成 29 年 12 月 9 日(土) 10:45~16:40

会場 B-nest 静岡市産学交流センター・静岡市中小企業支援センター (ペガサート 6 階)
プレゼンテーションルーム JR 静岡駅より徒歩約 5 分

昨 2016 年は、相原惇一静岡大学名誉教授が「相原理論」を *Journal of the American Chemical Society* に発表してちょうど 40 年という節目でした。この理論の登場により、1872 年にケクレが提唱した芳香環の共鳴仮説以来謎であった「芳香族性とは何か？」という問題に終止符が打たれ、「芳香族性」という概念が明確な定義をもって使用できるようになりました。今回、この節目を記念して「芳香族科学の最前線」と題した世界トップクラスの研究者によるシンポジウムを開催いたします。

プログラム

10:45~10:50

開会挨拶 (静岡大学理事 (研究・社会産学連携担当) / 副学長 木村 雅和)

10:50~11:40 「分子ナノカーボン科学の最前線」

伊丹 健一郎 (名古屋大学大学院 理学研究科 教授)

11:40~12:30 「一重項開殻性をもつ分子系の芳香族性について」

中野 雅由 (大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授)

12:30~13:50 昼食

13:50~14:40 「安定ポルフィリンラジカルの化学」

大須賀 篤弘 (京都大学大学院 理学研究科 教授)

14:40~15:30 「開殻性反芳香族の合成と三次元芳香族性の発現」

戸部 義人 (大阪大学 産業科学研究所 招聘教授)

15:30~15:40 休憩

15:40~16:40 「芳香族性とは一体なにか？」

相原 惇一 (静岡大学 理学部 名誉教授)

閉会

参加費 無料 申込不要 (ただし、座席数の関係で先着 150 名まで)

懇親会 17:10~18:40 会費 6000 円 (準備の都合上 11 月 15 日までにご予約ください)

申込・問合せ先 〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学理学部化学科 岡林利明

E-mail : sctokab@ipc.shizuoka.ac.jp Tel. 054-238-4768